

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公開番号】特開 2019-54097 (P2019-54097A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2017-176918 (P2017-176918)

【国際特許分類】

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

A 4 5 C 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 5/02 C

G 0 6 F 1/16 3 1 2 G

G 0 6 F 1/16 3 1 3 C

A 4 5 C 11/00 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 8 日 (2020.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の一態様として、機器の保護ケースであって、前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記機器の背面の一部を覆う被覆部と、前記機器が載置される載置面に対して当該機器を傾斜した状態で支持するときに、前記機器が前記載置面に対して立ち上がるように前記機器を支持する第 1 支持部と、前記載置面側の面が平面状に形成された平面状部を有し、前記載置面に対して前記機器を傾斜した状態で支持するときに、当該機器の下端部と前記載置面との間に介在して、前記平面状部の前記載置面側の面が前記載置面と略平行になるように前記機器を支持する第 2 支持部と、を備える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器の保護ケースであって、
前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記機器の背面の一部を覆う被覆部と、
前記機器が載置される載置面に対して当該機器を傾斜した状態で支持するときに、前記機器が前記載置面に対して立ち上がるように前記機器を支持する第 1 支持部と、
前記載置面側の面が平面状に形成された平面状部を有し、前記載置面に対して前記機器を傾斜した状態で支持するときに、当該機器の下端部と前記載置面との間に介在して、前記平面状部の前記載置面側の面が前記載置面と略平行になるように前記機器を支持する第 2 支持部と、を備える保護ケース。

【請求項 2】

前記第 1 支持部の一端側は、前記被覆部に対して回動可能に接続されている請求項 1 に

記載の保護ケース。

【請求項 3】

前記第 1 支持部の一端側と前記被覆部との間には、第 1 可撓部が設けられている請求項 1 または 2に記載の保護ケース。

【請求項 4】

前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記機器の正面の少なくとも一部を覆う位置へ設置可能であり、かつ、前記第 1 支持部の他端側に回動可能に接続された蓋部をさらに備える請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の保護ケース。

【請求項 5】

前記蓋部は、前記第 1 支持部によって前記機器が前記載置面に対して支持されている状態で、前記第 2 支持部と前記載置面との間に介在可能に設けられている請求項 4に記載の保護ケース。

【請求項 6】

前記第 1 支持部の他端側と前記蓋部との間に第 2 可撓部が介在する請求項 4 または 5に記載の保護ケース。

【請求項 7】

前記被覆部は、
前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記機器の背面の一部を覆う保持部を含み、前記保持部に開口部が形成された第 1 被覆部と、
前記第 1 被覆部の前記開口部内にその一部が配置され、前記第 1 被覆部に第 1 可撓部を介して接続された第 2 被覆部と、
を含む請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の保護ケース。

【請求項 8】

前記第 1 被覆部の厚みと前記第 2 被覆部の厚みとが略同一である請求項 7に記載の保護ケース。

【請求項 9】

機器の保護ケースであって、
前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記機器の背面の一部を覆う保持部を含み、前記保持部に開口部が形成された第 1 被覆部と、
前記第 1 被覆部の前記開口部内にその一部が配置され、前記第 1 被覆部に第 1 可撓部を介して接続された第 2 被覆部と、
前記第 2 被覆部に第 2 可撓部を介して回動可能に接続された蓋部を備え、
前記第 1 被覆部の厚みと前記第 2 被覆部の厚みとが略同一である保護ケース。

【請求項 10】

前記保持部は、前記機器の下端面をさらに覆う下端面保持部を有し、前記開口部が前記下端面保持部まで延在して形成されている請求項 9に記載の保護ケース。

【請求項 11】

前記下端面保持部の厚みは、前記第 2 可撓部の厚みと、略同一に形成されている請求項 10に記載の保護ケース。

【請求項 12】

前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記蓋部を前記機器の正面に対向させて配置させた際、前記第 2 可撓部のうち前記機器と対向する部分の少なくとも一部が、前記機器の前記下端面に当接する請求項 11に記載の保護ケース。

【請求項 13】

前記保護ケースが前記機器へ装着された状態で前記蓋部を前記機器の正面に対向させて配置させた際、前記第 2 被覆部および前記第 2 可撓部は、前記機器の側面視において前記第 1 被覆部に重なり合う寸法である請求項 9 乃至 12 のいずれか一項に記載の保護ケース。

。